



稲敷市



Salmon Arm
サーモンアーム市 (カナダ)

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.24
2018.11



【書道体験】



【対面式】



【柔道体験】



【さよならパーティー】

平成31年度稲敷市親善大使海外派遣事業について ～貴重な海外体験のチャンスです！～

8月に、カナダ・サーモンアーム市へ、稲敷市在住の中学生・高校生を派遣します。
1週間のホームステイを通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。
募集は平成31年4月頃を予定しています。
詳しくは稲敷市役所市民協働課へお問い合わせください。

いな しき
稲敷 いなのすけ



◎姉妹都市交流事業（海外派遣・受入）の詳細は稲敷市ホームページ

<http://www.city.inashiki.lg.jp/index.html>（目的別→市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業）

◎稲敷市姉妹都市交流委員会 会員募集！ お問い合わせは市民協働課内事務局へ：029-892-2000（代）

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●

「ホストファミリーにならしましょう！」



＜随行員のラボケイン夫妻とともに＞

稲敷市姉妹都市交流委員会
相部 直子

海外に行かなくても、日本の自宅でこんなに楽しい国際交流ができるのだなあというのが、今回初めてホームステイの受入れを体験した率直な感想です。私の家には、随行員のご夫妻が滞在しました。とても優しく親しみやすいお二人で、稲敷での滞在をとても楽しんでくれました。私たちのために、カナダからケーキミックスとメープルシロップ、カナダ国旗柄のナプキンを持ってきて、朝食にパンケーキを作ってくれました。焼きたてのパンケーキに、メープルシロップを驚くほどたっぷりかけていただいたのは、とても楽しい思い出です。寺社仏閣にも興味があるとのこと、自由行動日には筑波山神社や成田山にも一緒に行きました。七福神とは？というような、今まであまり考えたことのないようなことを質問され、日本のことでわからないことや知らないことがたくさんあることを再認識する機会にもなりました。さよならパーティーのときに、カナダと日本の学生達が、初日とは見違えるくらい親しくなっている様子に、とても感動しました。ホストファミリーになって、カナダに友達ができるのは、なんて素晴らしいことでしょう。次の機会には、皆さんも少し勇気を出して受入れをしてみませんか？

ずっとつながっていこう

—第11回サーモンアーム親善訪問団受入事業に参加して—

受入期間：平成30年3月23日（金）～3月29日（木）

受入ホストファミリー名簿（※学年は受入当時）

友田 滴(高1)	新里 悠真(高1)	新里 真加(中3)
岡沢俊之介(中1)	木村 晶(中1)	中川 公将(中1)
松本慎之介(中1)	木内 茜里(専1)	木内 詩織(高3)
高須梨里菜(中2)	坂本 芽依(中2)	黒田 渚月(中1)
清水 日和(中1)	酒井 萌花(中1)	モハバティ 花奈(中3)
黒田 遥香(大1)	田村 明梨(中2)	根本 菜央(中1)
宮本 愛弓(中3)	佐藤 日向(中2)	
相部 直子(一般)	清水 美香(一般)	

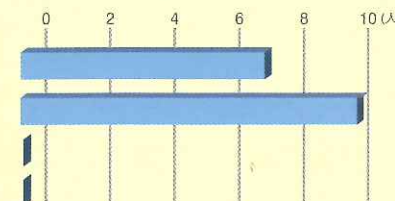
期間中の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会（江戸崎中学校）
- ・創作活動（白浜少年自然の家）
- ・フリーデー（1日間）
- ・日光一泊研修（華厳の滝・日光東照宮・鬼怒川温泉・日光江戸村）
- ・さよならパーティー

ホストファミリーのアンケート結果（抜粋）

Q. 今後の受け入れについて

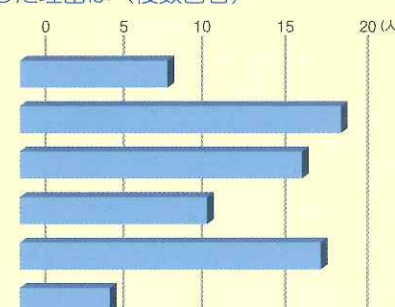
- 次回以降も受け入れてみたい
- 条件が合えば受け入れてみたい
- もう受け入れたくない
- その他



親善訪問団員のアンケート結果（抜粋）

Q. 今回の派遣プログラムに参加した理由は（複数回答）

- 日本語を学ぶため
- 日本の文化に興味があった
- 日本の生活に興味があった
- 稲敷市に興味があった
- 稲敷市の人と交流がしたかった
- その他



対面式



中学校交流会



日光江戸村



さよならパーティー



創作活動



日光東照宮



華厳の滝



友田 滴

家族での受け入れは2回目でしたが、1回目の時、私は忙しかったこともあり、あまり交流できませんでした。だから私は今回、メインホストとして積極的に話すようにしてみました。私はあまり話題を作ることが得意ではなかったのですが、趣味のことを話しているうちに少しずつ仲良くなりました。しかし英語で自分の伝えたい事を自分の力でのみ伝えることは難しく、ジェスチャーやスマホで写真を見せてようやく伝え、言葉以外の意思を伝える手段も大切だとわかりました。1回目と違い、コミュニケーションを多くとることができ、いい思い出も作れ、とても良い経験ができたと思います。

新里 真加

最初に話し掛けた言葉は「Hello」でした。それから、私の国際交流がスタートしました。私は、たった一言に緊張をし、感動で胸一杯になったのを覚えています。二度目の受入れで、今回は素敵な出会いを期待しながら、心待ちにしていました。二度目の交流で余裕があったものの、異文化や言葉の壁を感じました。そこで私が学んだのは、コミュニケーションの大切さです。言葉には、何千通りの言い回しが存在し、表情や身振りで意志疎通ができます。受入事業を通して「伝える意志」の重要性について気づかせてもらいました。是非、皆さんにも、この素晴らしい機会を見逃さないで、この事業でしか得られないものを感じて貰いたいです。

佐藤 日向

昨年サーモンアームにホームステイをして、今まで以上に外国に興味を持つようになり、それがきっかけで今回受け入れをしました。今回私の家へ来てくれた人が、サーモンアームで私のメインホストだったということもあり、お互いあまり気を遣わずに7日間過ごすことが出来ました。受け入れ期間中はできるだけ日本の文化に触れてもらいたいと思い、布団を用意したり和食中心の食事にしたりしました。とても短い期間でしたが、日本での生活は楽しく過ごせたと帰る時に言ってくれました。次回の受入活動にも積極的に参加し、もっとたくさんの人と交流したいと思います。

第9回姉妹都市交流委員会懇談会

5月26日（土）、第11回サーモンアーム市親善訪問団受入れホストファミリーと交流委員会会員による懇談会を開催しました。ホストファミリーの皆さんからは、「国境を越えた友達が出来た。メールのやり取りも続いている。」「ゲストが、今度はホストになるよと言ってくれたのでカナダに行きたい。」「言葉が通じなかったところは悔しかったが、これをバネにしてみっと英語を学びたい。」といった感想が聞かれました。



姉妹都市提携時の思いをつなぐために

稲敷市姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗



1990年4月（平成2年4月）、東村とカナダのサーモンアーム市との間で姉妹都市提携の調印式が行われました。爾来、29年、23回の交流が実施されました。内、10回は稲敷市が誕生してからのものです。歴史あるこの交流事業を今後も継続していくために、29年前の関係各位の壮大な思いと努力を肝に銘じ、さらに、平成時代を歩み続けた交流の遺産を次の時代へ引き継いでいきたいと考えています。

さて、本年度は両市間の交流事業は実施されません。そこで、本委員会では次のような事業を計画しました。

① 前年度（平成30年3月）に実施された受け入れ事業の検証と次回への策定

② 会員による「稲敷市観光ガイド」の英語バージョンの作成

③ 交流事業時の危機管理能力向上のための会員研修

①については、実施後のアンケートから、次回の視察地や宿泊場所等について本会で検討し、具体策を策定中です。②については、本会会員10数名により作業が進められています。次年度には完成する予定です。③については、講師等を検討中です。

上記のように、本会は会員一人一人の意欲的な活動に支えられ運営されています。今後も稲敷市の子ども達のグローバルな成長を願い微力ながら努力して参りたいと考えております。皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

姉妹都市交流委員会の活動

姉妹都市交流委員会は、市が実施する姉妹都市交流事業を支援する組織として活動している団体です。

今回の受入事業では、交流委員会会員が講師となり、ホストファミリー向けに英会話研修会を実施しました。

今後とも、市と協力しながら、両市の友好親善の仲介役としての役割を果たせるよう、努めてまいります。



英会話研修の様子

Facebook 更新中！

昨年から新設した **Facebook ページ** は、委員会活動や姉妹都市交流について情報発信を行っています。スマートフォンやパソコンから閲覧することができますのでぜひご覧ください。

◎稲敷市姉妹都市交流委員会フェイスブックアカウント

<https://www.facebook.com/Inashiki.sistercity/>



INFORMATION

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

・姉妹都市交流委員会

親善大使海外派遣事業、親善訪問団受入事業など稲敷市の実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動に協力し、交流活動を展開しています。

問い合わせ・申込みは
市民協働課内事務局：
029-892-2000 まで

○姉妹都市交流事業の詳細は
稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市 姉妹都市交流

検索



親善大使海外派遣事業及び親善訪問団受入の日程について

派遣

受入

29 年度	H29.8 派遣実施済	H30.3 受入実施済
30 年度	なし	なし
31 年度 (2019)	H31.8 派遣予定	H32.3 受入予定
32 年度 (2020)	なし	なし

※派遣事業における個人負担について

親善大使海外派遣事業の派遣費用は、概ね30万円です。派遣費用の半分（上限額15万円）は稲敷市より補助されますので、実質約15万円程度の個人負担となります。

編集後記

今回に限ったことではありませんが、たくさんの写真、たくさんの笑顔から厳選していく作業は大変です。しかし、サーモンアームの学生たちと、受け入れた稲敷の学生たちが、写真の中に笑顔でいることに、委員としては大変な喜びを感じております。写真には写らない、多くの喜びや感動も胸に刻んでいること、今回の体験が未来の無限の可能性につながることを、心から期待しております。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員・稲敷市役所市民協働課

交流委員会広報委員

山本 彰治（委員長）、塚本 みち子（委員）、倉田 九豪（委員）